

支援策1 「福祉の心」について

★支援策1 「ともに生きる社会」の実現に向け、福祉の心を育みます

○検討課題

「福祉の心」の言葉は適当か

○庁内意見（福祉21 推進会議地域福祉部会）

「福祉の心」という文言は、全体を説明する中で使われるのであればよいが、他の支援策の文言が客観的な言葉となっている中で、違和感を感じる。

<教育局より>

「インクルーシブ教育」に関する取組は、広く「ともに生きる社会」の実現に向けた取組であるが、「福祉の心」とした場合、「福祉」の中に入れるのは違和感があり、位置付けられない。

○「福祉の心」に代わる表現についての意見照会結果

- ・「福祉意識の醸成」
- ・「福祉への理解の促進」
- ・「ともに支え合う心（意識）」
- ・「地域福祉の心（意識）」
- ・「お互いに理解しながら、思いやりの心」

《イメージ案》

（案1）ともに生きる社会の実現に向け、お互いに理解しながら、思いやりの心を育みます。

（案2）ともに生きる社会の実現に向け、互いに尊重し支え合う心を育みます。

（案3）ともに生きる社会の実現に向け、すべての人のいのちを大切にする、あたたかい心を育みます。